ひまわり通信

いのち輝く子ども

№１４　平成２１年２月１３日
新潟市立東青山小学校
校 長　斎 川　英 子
児童数　608人
TEL(231)9611　fax(231)9623
http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/
http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/（携帯用）
E-mail　h-aoyama@niigata-inet.or.jp

春の日差しのように

暦の上では春を迎えました。学校の周りでも草木が芽吹きの準備を始めています。

この時期は、子どもたちもまた進級や進学に備えて準備を始めているのです。自分ができるようになったこと、考え方が変わったことなど、どの子も１年前の自分と比べながら今の自分を確かめています。そして、次のめあての芽をふくらませているのです。

校長室の窓から、グラウンドで鉄棒をしている子どもたちの様子が見て取れます。「見てて、見てて。」と言わんばかりに技を披露してくれます。ついこの前までは、逆上がりができなかったＡさん。昨日は、逆上がりをして、その上、連続後ろ回りの技を見せてくれました。思わず拍手すると、満足そうな笑顔が返ってきます。たまらなく嬉しい瞬間です。

このように、子どもは、何かのきっかけで、できなかったことが急にできるようになったり、突然ぐんと伸びる時がやってきたりすることがあります。その瞬間を逃さずエールを送りたいと思いますが、なかなかタイミングが合いません。

また、日々、子どもに接していても、小さな成長に気付かないことがあります。

ところが、１年前や２年前をさかのぼってみると、身体だけでなく心や考え方が大きく成長していることがよく分かります。

ですから、私たち大人は、もっともっと、子どもたちの成長を喜び、嬉しさを伝えていくことが必要ではないかと思っています。

「あなたが○○できるようになって私は嬉しい。」「あなたが○○のように考えられるようになって私は喜んでいる。」というように、成長を喜ぶ気持ちを言葉に表して伝えていくことが大切だと思うのです。

９日（月）には、４・５・６年生の今年度最後の授業参観がありました。また、16日（月）には、１・２・３年の今年度最後の授業参観があります。保護者の皆様方から子どもたちの成長をたくさん見つけていただき、それを子どもたちに伝えてほしいと思っています。

私たち教職員も、一人一人の子どもの成長を目をこらして見つめ、喜びの気持ちを添えて伝えていきたいと思います。

それには、温もりのある眼差しが必要です。日ごとに和らぐ春の日差しのように、暖かく周りを包み込みながら、子どもたちの成長を見守っていきましょう。

６年生のみなさんありがとう

「卒業まであと○日」という表示が目に留まります。それぞれの学年が、６年生に感謝の気持ちを心を込めて伝えています。上の写真は、２年生による縦割り班長の似顔絵作成の一場面です。

不審者侵入避難訓練

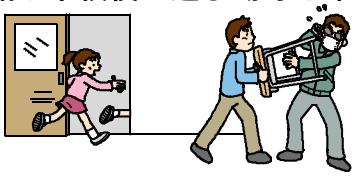
10日（火）10時50分、校舎１階の教室に不審者が侵入したという想定で、避難訓練を行いました。

地域の自治会長様に不審者役をお願いし、通報により警察官が駆け付けるという本番さながらの訓練です。

子どもたちを不審者から遠ざけることを第一に、担任が不審者に対応しているうちに子どもたちを避難させるというものです。

無事に避難した子どもたちに、西警察署の方から、学校以外で不審者に合った場合に気をつけることのお話をしていただきました。「いか・の・お・す・し」や「子ども110番の家」のことでした。

この機会に、ご家庭でも、もう一度、子どもたちの通学路や下校後の遊び場等を確認をお願いします。



６日（金）には、東青山小学校教職員、PTA、校区自治会長、民生委員、主任児童委員、交通安全協議会との合同情報交換会が行われました。東青山小学校の力強い応援団で、子どもたちを温かく見守ってくださる方々です。

集まってくださった皆様の思いは一つ。

> 地域の子どもたちを地域のみんなで大切に育てよう。

地域の中にある学校です。地域の皆様方と力を合わせて子どもを育てることの大切さを確認したひとときでした。

自治会長様からの嬉しいお話です。

> ゴミステーションで会う子どもから元気をもらっています。自分から進んで朝の挨拶をしてくれて、その日一日が気持ちいいです。

おめでとう！

新潟県書き初め大会

特　選　３年　吉川　夏生
準特選　２年　田中　　茜
　　３年　林　由梨佳
　　３年　細田　成実

新潟県硬筆書き初め大会

特　選　２年　田中　　茜
　　２年　野口　雄貴
　　２年　村山　七海
　　２年　谷内田結唯

第５回　新潟教育アート展

優秀賞　１年　山田　佳輝
　　６年　米沢　嘉彦

第54回 青少年読書感想文全国コンクール

入　選　６年　神村　文乃

「なぜ、冥王星は惑星じゃないの？」を読んで

ちょっと気になります
下校時の歩行マナー

友だちと和やかに会話をしながら下校する子どもたちの姿は、見ている周りの大人たちも心和むものです。

しかし、大声を出したり、急に飛び出したり、他人の敷地に平気で入ったりするのは、たとえ子どもであってもいけないことです。大声を出して歩く子どもには、赤ちゃんが今寝たばかりかも知れない、夕方から働きに出る人が今眠っているかも知れないなど、周りの人のことを考えて静かに歩こうという話をしました。

交通ルールを守ることと同じようにマナーを身に付けることも大切ですね。